

畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発行所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編集発行人
佐野和夫
印刷所
(株)東北プリント



令和5年度 宮城県総合畜産共進会 (美里町 みやぎ総合家畜市場)

もくじ

CONTENTS

仙台牛の日(10月9日)に関連したイベントのご案内・・・2	令和5年度特定家畜伝染病防疫対策研修会について・・・8
令和5年度家畜診療等技術体験発表会並びに研修会 開催報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3	価格安定対策事業の発動状況について・・・・・・・・・・8
宮城県農業共済組合 事務所集約化と移転のお知らせ・・・・・・・・・・・・3	令和6年度宮城県農業大学校入学生を募集 (一般入校試験前期)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
令和5年度宮城県総合畜産共進会開催報告・・・・・・4-5	農業大学校生の抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
畜試便り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6	New face・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10-12
衛生便り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7	
農林水産祭参加第63回仙台牛枝肉共進会の 開催について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7	



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



仙台牛の日（10月9日）に関連したイベントのご案内

宮城県農政部畜産課

「仙台牛の日」は10月9日を「1009」（センキュー）として、仙台牛の略である「仙牛」（センギュー）との語呂合わせにより、2016年に認定・登録されました。仙台牛銘柄推進協議会では、仙台牛の日に仙台牛の美味しさをより多くの人に味わってもらうため、イベントを開催しています。

【開催終了】仙台牛コン in CROSS B PLUS Vol.2

開催日時：9月24日（日）12時～15時30分

概要：昨年に引き続き、仙台牛銘柄推進協議会と宮城県の共催により、「仙台牛」×婚活パーティーのイベントを開催しました。当日は、仙台牛を使ったメニューが提供され、参加者の方にはおいしい仙台牛を味わいながら楽しいひと時をお過ごしいただきました。宮城を代表する地元タレントとしてテレビ・ラジオ・CM・イベント等で幅広く活躍中の「本間ちゃん」こと本間秋彦さんにパーティーの司会をしていただき、パーティーは大変盛り上がりました。仙台牛をきっかけに、新たな出会いが生まれることを願っております。



【開催予定】仙台牛の日イベント ※詳細は変更になる可能性があります。

開催日時：10月9日（月）

概要：

(1) 仙台牛試食会（仮）

仙台牛のおいしさをより多くの方々に知っていただくため、仙台牛を使用したメニューを一般消費者の皆様へ試食していただきます。

(2) Date fm ジャックイベント（仮）

Date fmとのコラボイベントとして、仙台牛の日に仙台牛銘柄推進協議会がほぼ一日Date fmのラジオ番組をジャックします。内容は仙台牛にまつわることばかり！？当日は放送をお楽しみください。



仙台牛PRキャラクター牛政宗くん



(生産振興班 今田 彩音)

NAR 地方競馬全国協会 岩手競馬（盛岡・水沢開催）10・11月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	盛岡							盛岡						盛岡								盛岡								盛岡	
11月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
						盛岡							盛岡						盛岡											水沢	

※開催期間中の重賞レース

- ・10/1（日）第36回タービーグランプリ
- ・10/3（火）第1回ネクストスター盛岡
- ・10/9（月）第36回マイルチャンピオンシップ南部杯
- ・10/15（日）第43回若駒賞
- ・10/17（火）第16回サファイア賞
- ・10/22（日）第13回OROターフスプリント
- ・10/29（日）第39回プリンセスカップ
- ・11/5（日）第13回絆カップ
- ・11/12（日）第50回南部駒賞
- ・11/19（日）第45回北上川大賞典

令和5年度家畜診療等技術体験発表会並びに研修会 開催報告 ～宮城の畜産を支える獣医療の発展に向けた挑戦～

宮城県農業共済組合

令和5年7月20日から二日間、農業共済ビルにおいて、令和5年度家畜診療等技術体験発表会並びに研修会が開催されました。

この大会は、産業動物に関する各種疾病の予防、診断、治療等の諸技術の速やかな普及と向上を図り、畜産農家の経済的損失を軽減することを目的として毎年開催しています。

14演題の研究発表が行われ、岩手大学農学部共同獣医学科教授 一條俊浩氏ほか2名の審査員による審査の結果、最優秀賞は中央家畜診療センター 天野真衣獣医師の研究「子牛の事故多発農場における事故低減に向けた取り組み」が選ばれ、優秀賞には小堤晃博獣医師（県北家畜診療センター）、奨励賞には佐伯健太郎獣医師（県南家畜診療センター）、特別賞には笠島総司獣医師（中央家畜診療センター大衡支所）が選ばれ表彰されました。



左から笠島総司獣医師、小堤晃博獣医師、天野真衣獣医師、佐伯健太郎獣医師

(第二事業部家畜課 長江 達哉)

宮城県農業共済組合 事務所集約化と移転のお知らせ

宮城県農業共済組合

宮城県農業共済組合は、平成27年に宮城県農業共済組合連合会を本所、県内にあった8つの農業共済組合を支所とする、県1組合化が行われました。当初の県1組合化では、事務所の移転や管轄の変更等はありませんでしたが、令和4年4月より支所統合による事務所の集約化や移転が行われることとなりました。

まず、令和4年4月に角田市と亘理町にあった2支所を統合した「県南支所」、栗原市、登米市及び石巻市にあった3支所を統合した「県北支所」を発足いたしました。この2支所につきましては、旧県南支所と旧迫支所の事務所をそのまま利用し、職員を集約した形となりました。

そして令和5年6月に仙台市、加美町及び大崎市にあった3支所を統合した「中央支所」、同年8月には「本所」が大崎市にあります三本木総合支所の3階（支所）と4階（本所）に移転しました。

現在、厳しい農業情勢ではありますが、関係機関との連携や情報共有を図りながら、農業経営に役立てるよう努力していく所存です。

余談ですが、本組合では広報紙「和み」を発行しております。家畜共済関連のページにおいて、病気対策や診療依頼の目安となるサイン等の内容を掲載しております。機会があればご覧いただければと思います。

これからは本所と3支所の体制となり、皆様の支援を行います。なお、県内にある各家畜診療センターと家畜診療研修所の移転はありません。

県の中心である仙台市から本所が移転することとなりましたが、今までと変わらず農業者の皆様への支援を行ってまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

(第二事業部家畜課 長江 達哉)



令和5年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部・乳用牛の部） 盛会裡に終了

一般社団法人宮城県畜産協会

農林水産祭参加 令和5年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部・乳用牛の部）を、以下のとおり開催し、お蔭様をもちまして盛会裡に終了いたしました。

【開催期日・場所】

- ・肉用牛の部 9月8日～9日 みやぎ総合家畜市場（美里町）
- ・乳用牛の部 9月28日 みやぎ総合家畜市場（美里町）

【各部の出品頭数】

- ・肉用牛の部 単品35頭、群出品8組19頭、合計54頭
- ・乳用牛の部 未経産牛14頭、経産牛11頭、合計25頭

なお、各部の上位受賞者は下記のとおりです。

【肉用牛の部】

【名誉賞】 第2区
 農林水産大臣賞 (若雌の2)
 宮城県知事賞 大崎市 相澤 まゆみ 氏

【名誉賞】 第4区
 農林水産省畜産局長賞 (高等登録群)
 宮城県議会議長賞 登米和牛育種組合

【東北農政局長賞】 第5区（父系群）
みどりの和牛育種組合

【団体賞】 大崎地区

写真

- 上：第2区 相澤 まゆみ 氏 出品牛
- 下：第4区 登米和牛育種組合 出品牛



【乳用牛の部】

【名誉賞】 第10区
 農林水産大臣賞 (5歳以上)
 宮城県知事賞 丸森町 有限会社半澤牧場

【名誉賞】 第3区
 農林水産省畜産局長賞 (12ヶ月以上16ヶ月未満)
 宮城県議会議長賞 加美町 千葉 義文

【東北農政局長賞】 第7区 (3歳未満)
 丸森町 一條 有希

【団体賞】 大河原地域

写真

上：第10区 丸森町 有限会社半澤牧場 出品牛
 下：第3区 加美町 千葉 義文 氏 出品牛



(経営支援課 庄司 清文)



宮城野豚銘柄推進協議会

宮城県産黒毛和種



仙台牛公式 Instagram

仙台牛銘柄推進協議会

6月1日は

牛乳の日

WORLD MILK DAY

宮城県牛乳普及協会

〈畜試便り〉

宮城県養豚研究会 令和5年度第1回研究集會を開催

宮城県畜産試験場

令和5年7月27日、宮城県養豚研究会（事務局：宮城県畜産試験場）主催による令和5年度第1回研究集會を大崎市図書館にて開催しました。会場では36名、オンラインでは20名が参加し、盛會裡に終了いたしました。

今回の研究集會では、豚熱について宮城県内の現状を再確認し、今後の豚熱対策の構築について意見交換を行うことを目的として「宮城県の豚熱対策のこれまでとこれから」をテーマに、宮城県農政部家畜防疫対策室衛生安全班の佐久間晶子氏、同仙台家畜保健衛生所病性鑑定班の齋藤拓海氏、株式会社ヒルズ取締役副社長の佐藤富男氏よりご講演いただきました。

佐久間氏からは、宮城県における豚熱対策の状況について、「農場」と「野生いのしし」対策を説明いただきました。「農場」の対策では①県内飼養豚全頭に対するワクチン接種の実施②適時・適切なワクチン接種体制の構築③免疫付与状況確認検査の実施、「野生いのしし」の対策では、①野生いのししにおける豚熱・アフリカ豚熱ウイルス感染状況の監視②野生いのしし侵入防護柵の整備③経口ワクチンの散布を行っており、これらの対策は今後も継続するほか、特に経口ワクチンは散布範囲を拡大して実施される予定とのお話でした。また、豚熱疑いの通報があった場合の防疫対応の流れについては、発生から農場の再開までには非常に長い期間を要することから、日頃の飼養衛生管理の更なる徹底により豚熱の侵入防止に万全を期すよう進言いただきました。

齋藤氏からは、「県内飼養豚の豚熱ワクチンによる免疫付与状況」と「県内野生いのししの豚熱感染状況」について、説明いただきました。宮城県内の養豚場では豚熱ワクチンの初回接種を受けた豚（第一世代）と初回接種を受けた豚から生まれた豚（第二世代）が混在しており、ワクチン接種時期の調整が難しい状況となっているが、簡易な検査（ELISA法）から中和抗体価を推測できる「宮城モデル」を活用することで、接種豚の免疫付与率の推定が可能とのことでした。宮城県の野生いのししにおける豚熱感染状況では、死亡いのししで遺伝子陽性率が高く、令和4年度以降捕獲いのししで高い抗体陽性率を維持しており、野外のウイルスだけでなく、経口ワクチン散布による影響も現れているのではないかと述べられました。

佐藤氏からは、令和3年12月に豚熱が発生した際の対応と発生後の取り組みについて講演いただきました。農場では防護柵の設置、消毒の強化、前室の設置、衣類の交換、農場内道路のアスファルト舗装、防鳥対策等といった、発生前より行っていた防疫対策について、写真とともに詳細に説明いただきました。離乳農場及び肥育農場が殺処分の対象となり、繁殖農場は対象外であったことから、経営再開までに要する期間が大幅に短縮された一方で、移動制限とされたため、離乳豚の収容場所の確保に苦労したと述べられました。

総合討論では、養豚経営を大きく左右するテーマであったため、多数の質問が挙がりました。参加者からは、豚熱発生を受けて対策を強化すべきと感じた部分について質問があり、佐藤氏からは、防護柵にフェンスではなく壁を用いることで、より強固な防疫対策となるのではないかと、との回答をいただきました。

なお、次回は令和6年2月の開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。



(種豚家きん部 庄司 宙希)

感動を呼ぶ製品をめざして

ORION

ハードシステムとソフトシステム
(ビフォー&アフターサービス)で
あなたの経営を応援。
これがオリオンの思想です。

中央オリオン株式会社
宮城営業所 千989-6226 大崎市古川新田字泉屋敷59番4号
TEL: 0229-26-4330 FAX: 0229-26-4338

クボタ

高燃費抑制
POWER CHASSIS

農業の新しいスタイル、
バワクロ。

豊後 五十嵐商会
〒984-8525 仙台市若林区御町五丁目番地の4
TEL (022) 236-2525
FAX (022) 235-3381

次の一手を未来につなげたい

総合印刷企業
株式会社 東北プリント

〒980-0822 仙台市青葉区立町24番24号
TEL 022-263-1166 FAX 022-224-3986
E-mail mail@tohokuprint.co.jp

〈衛生便り〉

豚熱ワクチン接種における「登録飼養衛生管理者制度」について

宮城県北部家畜保健衛生所

2023年8月30日、佐賀県の養豚場で2018年の国内発生以来、九州初の豚熱発生が認められました。国内での発生は、宮城県を含む20都県89事例となりました(2023年8月31日現在)。

ワクチン接種は、飼養衛生管理基準の遵守と共に、欠かせない防疫対策の一つです。本県では、2023年4月から「登録飼養衛生管理者」による豚熱ワクチン接種制度を開始しました。これまで豚熱ワクチンは、「家畜防疫員(家畜保健衛生所の職員)」または「知事認定獣医師(知事に認定された農場の管理獣医師等)」が接種できました。本制度を利用すれば、知事認定獣医師の指示・監督のもと、「登録飼養衛生管理者(登録を受けた農場の飼養衛生管理者であり、一定の条件を満たす者)」による接種ができるようになります。

子豚は母乳中の移行抗体によりウイルスから守られていますが、移行抗体は子豚の成長とともに徐々に減少します。子豚へのワクチン接種により、いち早く豚熱への免疫を強化する必要がありますが、移行抗体が体内に残っていると、ワクチン接種後の抗体産生が妨げられることがあります。子豚の移行抗体のレベルに応じた接種適期でのワクチン接種が重要です。農場の登録飼養衛生管理者が接種できれば、農場ごとにきめ細やかなワクチン接種体制を構築できます。

一方で、ワクチンを接種していても豚熱感染を完全に防ぐことはできません。ワクチン接種と併せて、飼養衛生管理基準の遵守による豚熱ウイルスの侵入防止を図ることも大切です。

本制度にご興味のある方は、最寄りの家畜保健衛生所までご連絡ください。

(防疫班 秋山 桂花)

農林水産祭参加第63回仙台牛枝肉共進会の開催について

全農 宮城県本部 畜産部

農林水産祭参加 第63回 仙台牛枝肉共進会を下記の内容にて開催いたします。

電気料金や日用品の値上げにより牛肉の家計消費の減衰と枝肉相場の低迷、国際情勢の不安からの飼料代の高止まりなどにより、畜産農家の経営は深刻な打撃を受けております。

一方、新型コロナウイルスの感染症上の位置づけが5類になったことによる飲食店や観光地への人出の増加など明るい兆しも見られます。

このような状況下で開催する本共進会は、仙台牛の改良意欲の高揚、並びに生産肥育技術の向上を図り、市場流通の確立と生産農家の経営安定化に繋がる共進会として開催いたしますので、少しでも多くの方にご参観くださるようご案内申し上げます。

1. 会期及び場所

(1) 会期 令和5年11月5日(日)～7日(火)

(2) 場所 仙台市宮城野区扇町六丁目3番6号 仙台市中央卸売市場食肉市場

2. 出品区分及び条件

(1) 肥育の完成されたものとする。

部	品 種	区 分	条 件
第1部	黒毛和種	去 勢	枝肉重量450kg～700kg
第2部	黒毛和種	雌	枝肉重量380kg～600kg

※ただし、瑕疵のある枝肉は審査対象外とする。

(2) 出品牛は出品者において12ヶ月以上飼養され最長飼養地が県内のものとする。

(3) 出品牛は血統明確なもので、これを証明する書類(子牛登記書等)を有すること。

3. 出品頭数及び屠畜・販売日

部	品 種	区 分	頭 数	屠 畜 月 日	販 売 月 日
第1部	黒毛和種	去 勢	110	11月6日	11月7日
第2部	黒毛和種	雌	40	11月6日	11月7日
計			150		

(生産販売課 早坂 公宏)

令和5年度特定家畜伝染病防疫対策研修会について

宮城県農政部家畜防疫対策室

令和5年8月30日、宮城県建設産業会館を会場として、宮城県農政部と(一社)宮城県建設業協会、(一社)宮城県畜産協会が主催し、「令和5年度特定家畜伝染病防疫対策研修会」を開催しました。本研修会は、2022-2023シーズンにおける国内の高病原性鳥インフルエンザが、過去最大規模の発生(26道県、84事例、約1,771万羽)となったことを受け、国内では最大飼養規模である青森県の大規模農場における防疫措置の事例を参考にし、今後の防疫体制整備に向けた取り組み意識の向上を図るために開催しました。

講師として、青森県農林水産部畜産課の林敏展先生、上北農村整備建設協会(青森県)夏目正巳先生を招き、昨年12月に三沢市で発生した過去最大飼養規模(約139万羽)の採卵鶏農場での防疫措置について講演いただきました。林先生からは、自衛隊、県、市町村、関係団体の支援により、当初計画より大幅に短縮した15日間で防疫措置を完了したことや、農場との役割分担、様々な鶏舎構造に対応した殺処分作業、人員確保による長期化への対応、埋却地の確保等、具体的な説明がありました。また、夏目先生は、埋却作業を担う視点から、地域割りによる防疫体制や、埋却作業の実態を写真で紹介され、埋却候補地の事前調査の重要性を強く強調しておりました。

加えて、宮城県農政部家畜防疫対策室からは、発生時の組織体制、令和4年度に発生した気仙沼市の肉用鶏、角田市のアヒルの2事例の防疫措置状況、防疫体制整備の強化に向けた今後の取り組みについて説明を行いました。

本研修会に関係者約130人が参集し、講演に熱心に聞き入っており、今後の課題解決に向けて関係者間の連携強化が図られました。

既に今年8月には、南樺太の野鳥で高病原性鳥インフルエンザの感染が報告されています。農場での飼養衛生管理基準に基づく発生予防が基本ですが、万が一の発生時には防疫措置に関わる関係者皆様のご協力をお願いいたします。



青森県農林水産部畜産課
林先生



青森県上北農村整備建設協会
夏目先生



総合質疑

(衛生安全班 竹田 百合子)

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価

販売月	肉専用種(宮城県)	交雑種(全国)	乳用種(全国)
令和5年4月	(概算払) 精算払	—	(39,469.7円) 45,047.7円
5月	(概算払) 精算払	(9,733.7円) 13,933.8円	(40,943.0円) 45,099.0円
6月	精算払	45,225.0円	32,263.2円
7月	(概算払)	(39,701.0円)	(31,408.4円)

令和6年度宮城県農業大学校入校生を募集（一般入校試験前期）

宮城県農業大学校

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして、昭和52年4月に「宮城県農業実践大学校」として設立され、平成20年7月には専修学校の機能を付加し、平成21年4月に校名を「宮城県農業大学校」に変更しました。

下記により、令和6年度の一般入校試験（前期）が行われますので、多数の出願をお願いします。

記

- ◇募集人員（推薦入校試験分を含む。推薦入校試験の募集人員は学部定員の8割程度。）
畜産学部15名、水田経営学部15名、園芸学部15名、アグリビジネス学部10名
 - ◇募集期間
高等学校卒業者（令和6年3月卒業見込みの者を含む）又はこれと同等以上の学力があると認められ、本県農業の振興に貢献する意欲がある者
 - ◇募集期間
令和5年11月6日（月）～令和5年11月17日（金）（当日消印有効）
 - ◇試験日時
令和5年12月1日（金）午前8時45分～
 - ◇合格発表日
令和5年12月15日（金）午前10時
 - ◇試験場所
宮城県農業大学校本部名取教場
 - ◇試験科目
①筆記試験 国語総合（古文・漢文除く）（60分）、数学Ⅰ（60分）、小論文（60分800字）
②面接試験 個人面接（15分程度）
 - ◇専修学校のメリット
①卒業生に「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。
②卒業生は、4年制大学の3年次への編入学試験の受験が可能となります。
（編入試験実施の有無については、希望する大学に確認してください。）
 - ◇奨学金等支援制度
①本校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、入学後に公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。
②本校を卒業後、就農を予定されている方は、入学後に国の事業である就農準備資金の申請ができます。
③独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。（高校在学中に申請）
- ※上記①～③の奨学金等の採択に当たっては一定の要件を満たす必要があります。
入校試験・奨学金等支援制度についての詳細は、宮城県農業大学校教務部学生班・教務班
（電話022-383-8138）までお問い合わせください。

〈農業大学校生の抱負〉

私の大きな夢

宮城県農業大学校 畜産学部 2学年 高橋 啓太



私は、牛が大好きな農家の息子です。私の実家は、稲作と和牛肥育を家族経営で営む専業農家です。現在、水稲作付面積14ha、和牛肥育牛20頭規模で経営しています。私は幼い頃から牛が大好きで、中学生の時から父と二人で岩手の奥州市にある岩手県南家畜市場に素牛の買い付けに行っていました。ですが最近、授業が忙しく父と日程が合わず家畜市場に行けていません。そのため、家畜市場には父をお願いをして行ってもらっています。

令和4年には、地元栗原市のJA新みやぎ農協肥育牛部会栗っこ支部に入りました。なので、私自身の名前で共進会などに出品することができます。稲作は、奥羽山脈の名峰栗駒山を水源として流れる迫川のミネラルたっぷりの水で40年間米づくりを行っています。

25年前、祖父が農薬の使用に伴う被害を受け、その危険性を知ったことがきっかけで、農薬・化学肥料不使用の特別栽培米づくりを始めました。今では、一部の圃場以外は農薬・化学肥料を使用せず、微生物を使用したEM自然農法で栽培しています。

私が、宮城県農業大学校畜産学部に入校した理由は、和牛についての知識・技術を向上させることと、家畜人工授精師、2級認定牛削蹄師の資格を取得したいと思ったからです。

入学前は、新たに和牛繁殖経営を行いたいと思っていましたが、考えが大きく変わり、卒業後は親元就農をし、実家の和牛肥育牛を増頭することにしました。また、将来自分の手で自分の牛を削蹄したいので、2級認定牛削蹄師の資格を取得したいと考えています。残りの学生生活は少ないので、気を緩めずに過ごし、宮城県農業大学校畜産学部で学んだことを忘れず、将来の自分の経営に活かしていきたいと考えています。

<New face>

NOSAI宮城 県北家畜診療センター
近藤 太郎



初めまして。4月から宮城県農業共済組合（NOSAI宮城）で働かせていただくことになりました近藤太郎です。出身地は神奈川県です。出身大学は日本大学で、学部は獣医病理学研究室に所属していました。その後、麻布大学の大学院に進み臨床診断学研究室に所属していました。

大学院時代に牛の診察に参加させていただく機会があり、そこから牛の臨床獣医師に興味を持ち、また農家さんの生活を支える仕事をしたいと考えようになりました。

NOSAI宮城に就職を決めた理由は、臨床実習で獣医の先生方の熱意を感じ、農家さんからの信頼も厚く、研究も盛んであったからです。

NOSAI宮城は新人研修が充実しており、座学や実習、往診随行といった内容が組まれています。牛への注射や直腸検査等が上手にできないこともありますが、早く一人前の獣医師になれるよう勉強と技術習得に励んでいます。

新人のため皆様にご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

NOSAI宮城 県北家畜診療センター
小沼 将大



初めまして。今年度より、宮城県農業共済組合・県北家畜診療センターに配属になりました、小沼将大と申します。出身地は神奈川県で、出身大学は日本獣医生命科学大学です。

当初、私が獣医師を志した理由は、馬が好きで、競走馬を診療する獣医師になりたいと思ったからでした。

しかし、大学入学後にその他の多くの獣医師の仕事について知り、また実習などで獣医師が農家の方に貢献する姿を目の当たりにしたことで自分自身も大動物の獣医師になりたいと感じるようになり、農業共済の獣医師を志しました。

これまで宮城県とは接点が無く、この度の就職で初めて足を踏み入れました。私自身、普段は出不精であり、休日は一日中音楽を聴いたり、一日中映画を観たり、一日中好きなラジオ番組を聴いたりなどで過ごすことが多いのですが、この機会に県内の多くの場所に足を運び、美味しい物を食べ、地域のイベントなどに触れて早く宮城県の土地に馴染んでいきたいと考えています。また、野球観戦も好きなので、プロ野球の試合も観に行きたいと思います。

日々の仕事については、まだ技術や知識が不足していることもあり、目の前のことをこなすことに精一杯ですが、その中で農家の方や職場の諸先輩方から親切に指導していただき、大変感謝しております。獣医師としてまだ右も左もわからない状態ではありますが、一日も早く農家の方や地域に貢献できるような獣医師になれるよう努力を重ねていきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 6

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信中の内容: 国産原料100%の飼料で黒毛和牛を肥育する農家に密着!/シリーズ 令和の畜産危機にさせないために/放牧で飼料代・燃料代を抑えた酪農経営/他



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846



NOSAI宮城 中央家畜診療センター

佐藤 めぐみ

初めまして。今年度より宮城県農業共済組合、中央家畜診療センター所属となりました、佐藤めぐみと申します。出身は宮城県大崎市古川、出身大学は岩手大学です。大学では大動物研究室で牛群管理について学び、大学卒業後、しばらく県外にて産業動物獣医師として働いておりました。この度地元である宮城県に帰ってくるのができ嬉しく思います。離れてみると宮城は海も山も近く、ご飯も美味しく恵まれていたな・・・と考えていたところでしたので、楽しもうと思います。

職場では先輩方、また若い先生達にも優しく指導していただき、多くのことを勉強させてもらえることを有難く感じながら毎日を過ごしています。また、農家さんも暖かく迎えてくださり、安心して仕事ができることに感謝しています。

以前、農場獣医師として働いていた経験があり、作業と問題解決に日々悩みながら、休みなく継続していく農家さんの大変さを感じました。

現在、畜産の現場ではたくさん大変なことがあり、それを少しでも軽くするために、自分には何ができるか模索しながら仕事をしています。

組織に入ったばかりで分からないことも多く、至らないところもありますがどうぞよろしくお願いたします。

.....



NOSAI宮城 中央家畜診療センター大衡支所

広井 穂嵩

初めまして。今年度より宮城県農業共済組合・中央家畜診療センター大衡支所の配属となりました広井穂嵩と申します。出身は新潟県で出身大学は北海道にある帯広畜産大学です。大学では動物医療センターの小動物の内科学研究室に属し、日々診療に来る血液系の病気や腫瘍にり患した犬や猫を見てきました。

大学での研究室は小動物ですが、学生の時に搾乳や市場のアルバイトを通して牛に触れてきました。搾乳のアルバイトでは、朝は午前5時～10時まで夕方は午後3時半～8時までととても大変でした。これを毎日続けている酪農家さんの体力に圧倒されました。また、市場に出品される体格の良い牛たちを見ていく中で、自分もこの牛たちの成長に携わりたいと思うようになりました。その後、NOSAI宮城で実習を体験し、牛のおもしろさや先生方の牛に向き合う姿、技術を目の当たりにして、自分も宮城の先生のように牛の診療ができるようになりたいと思いNOSAI宮城を志望しました。

NOSAI宮城の職員となり先生方の往診に随行していく中で、先生方が簡単にやってしまうことすらなかなかうまくできず、スキルや技術不足を実感する毎日です。獣医師として至らない点が数多くあり、農家さんや先生方の支えに日々感謝しています。

獣医師として今年度から働き始め、自分ができることはまだ少ないですが、一日でも早く一人前の獣医師として働けるように勉強し、農家さんのお役に立てるように日々努力してまいります。よろしくお願いたします。

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>) でもご覧になれます。

(担当: 審査部登録課 電話03-3583-2142)

一般社団法人宮城県畜産協会
家畜改良課 久保田 奏子



はじめまして。4月から一般社団法人宮城県畜産協会家畜改良課に配属になりました、久保田奏子（くぼたかなこ）と申します。出身は新潟県です。仕事では県内各地に出張に行くことが多いですが、田園風景を見ていると故郷を思い出します。以前は北海道で行政職員として働いていました。

大学は農学部でしたが、元々の専攻は植物でした。学部生時代はアスパラガスの植物ホルモンの研究をしていました。学部生時代は馬術部に所属していました。毎朝4時に起きて休みなく活動していたので辛かったこともありましたが、馬術という自分が生涯をかけて追いたいものに出会えたことは僥倖でした。社会人になった今でも馬に乗ります。自分が畜産の世界に足を踏み入れるきっかけとなったのも馬でした。家畜について興味が湧き、家畜の健康について研究したいと思うようになりました。そのため、大学院では子牛の腸管免疫について研究しました。

現在所属している家畜改良課では主に、精液配布及び窒素補給事業と、豚の登記登録を行っています。家畜の繁殖、改良や登記に関することはほとんど知らなかった分野なので、自分の知識不足を痛感する日々ですが、その一方で学ぶことが多く、奥が深いと思います。前職は行政職員でしたが、立場が変わってみると見える風景も違うので、様々な角度で物事を見るのが重要だと感じています。

まだまだ至らぬ点もありますが、多くの知識と経験を備えた職員となり、畜産振興に貢献したいと考えています。これからも精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈いします。

一般社団法人宮城県畜産協会
総務課 吉田 翔子



はじめまして。令和5年4月から宮城県畜産協会に採用され総務課に配属になりました、吉田翔子（よしだしょうこ）と申します。宮城県利府町で育ち、今年春にビジネス系の専門学校を卒業しました。専門学校では経理会計を学び、多くの資格取得に取り組みました。

私は中学校1年生から高校3年生まで部活動として弓道部に所属し、日々練習に打ち込んできました。高校では部長を務め、練習試合や大会では他校の選手と実際に交流し情報交換することで、知識を深め自分自身や他の部員の技術向上に力を入れてきました。その結果、県大会への出場を果たし団体個人ともに入賞を果たしたことは今の自分の糧になっています。弓道を通し集中力や忍耐力を付けることができ、充実した学校生活を送ることが出来たと感じています。

私の業務内容としては総務・経営支援に関する経理を担当しています。また宮城県養蜂協会に関する事項も担当しており、養蜂家からの斡旋物資の依頼やそれに伴う経理、農薬散布に関する注意喚起の資料送付など会員の方のサポートを行っています。

今までの生活の中で畜産について携わる機会がほとんどなく、多々の不安がありました。しかし、日々新しいことの連続のなかで知らない知識を知り、新しい分野について学べることで、自分自身の視野を広げることが出来ていると感じ、畜産分野に携わる機会を与えていただいたこと、とても嬉しく感じています。畜産分野において今まで自分が学んでいたことを活かし貢献できるようこれからも努力していきたいと思ます。まだまだ至らぬ点が多々あると思いますが、今後とも精進してまいりますので、御指導御鞭撻の程よろしくお祈いいたします。

宮城県動物薬品器材協会(会員名)

(株)アスコ宮城営業所
遠田郡美里町関根字館野28 TEL0229-34-2031

小田島商事(株)
大崎市古川清水字周防10-1 TEL0229-26-4567

M P ア グ ロ (株)
仙台支店 仙台市太白区富沢南二丁目8-9 TEL022-245-4306

(株)アグロジャパン南東北営業部宮城チーム
大崎市古川西館2-3-57 TEL0229-91-9060